

第 322 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 28 年 6 月 7 日 (火) 11:50~13:10
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix SHIZUOKA HITS ON PARADE
[放送日時] 平成 28 年 5 月 20 日 (金) 11:30~13:55
[出演者] 御代田 悟
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 高木邦子
- [会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史
編成制作部 柳原貴仁

5. 事務局報告

- 第一四半期 売上状況の件
- 総務省 放送免許中間ヒアリングの件

6. 番組審議

- [対象番組] K-mix SHIZUOKA HITS ON PARADE
[放送日時] 平成 28 年 5 月 20 日 (金) 11:30~13:55
[出演者] 御代田 悟
[番組内容] K-mix の週間チャート 40 曲を賑やかに紹介。
気分が「HOP」する 2 時間半。

[聴取・合評での主な意見]

角田副委員長 キャラクター設定が、全体的に「気持ち悪さ」を感じる。パーソナリティとして、曲の説明が感覚的で具体性がない。「解説者」なのか、リスナーとの「共感者」なのか、立ち位置が曖昧だ。フラッシュの 1 曲分の長さなど、ラジオとしてチャートを聴かせる工夫が欲しい。

山本委員 声が綺麗で聴き易い。次のランキングへ移行する際のサウンドステッカーのインパクトが強く、曲が埋没している。「ラッキー 7」のコーナーでのヒト、個人的には良く分からなかった。ライブレポートは、現地の楽しさは伝わったが、もう少し具体的な説明が欲しい。

- 服部委員 全体的に落ち着いたトーンだ。音楽好きなリスナーを想定した曲の解説のため、専門的な内容が多く、少し分かりづらい。フラッシュの曲を、もう少し長く聴きたい。サウンドステッカーに消されてしまう。ライブレポートは、放送された楽曲と共に聞き入ってしまった。
- 小野委員 放送枠が、チャート番組という内容にふさわしいのか、疑問だ。ランキングの合間にテーマメッセージを挟んでいくという進行の難しさを感じる。
- 高木委員 放送枠の問題は、同感だ。音楽に詳しくないリスナーのために、アーティスト情報を細目に挟んで欲しい。パーソナリティの表現に擬音語・擬態語が多い。もう少し伝わる言葉で話して頂きたい。御代田の音楽的バックボーンの深さは感心するが、知識の紹介バランスは、適切量が難しい。詰め込みすぎると、レクチャーを受けている気分になる。
- 木宮委員長 大別すると、パーソナリティと番組構成の2つの課題がある。いまのリスナーは、ランキングにこだわっているのか？チャートの価値観が薄れてきており、そろそろ編成的な曲がり角にきているのではないだろうか？パーソナリティの音楽知識は相当なものだが、DJとしての技量としては、まだまだ改善の余地があると感じる。
- 会社サイド 前回(第321回)では、パーソナリティ2人の成長をご評価頂いたものの、テーマ設定や2人の立ち位置などについてご意見頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成28年7月5(火) 11:50~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信